

# 公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

## 研修報告書 (2016年度 助成者)

作成日 2016年9月21日

氏名	角 友理恵
研修先機関名	<u>Hawaii Tokai International College</u>
研修期間	2016年8月15日(月)～20日(土)
大学名 学年	岐阜大学 5年

まずはじめに、この研修プログラムの企画、運営に関わってくださった全ての方に感謝の気持ちで一杯です。朝から晩まで、それこそ夕飯を食べる時間もない程に詰まったスケジュールで、一日中英語づけ、一体ついていけるのかと始めは心配になりましたが、6日間本当にあつという間で、優しくフォローしてくださる先生方、お互い高めあい、励ましあい、そして語り合った24人の仲間、さらに拙い **history taking** にどこまでも付き合い、アドバイスしてくれたハワイ大学の学生の方々のお陰で、笑顔で帰国することができました。

研修の中で学んだことは、主に **Medical Ethics** において、倫理的問題を前にして自分の意見を英語で言えるようになること、そして **Case Presentation** を自信を持って正しく出来るようになることでした。**Medical Ethics** では4人で班になり、3日間様々な倫理的問題を抱えた患者さんを、医師としてどのように対処するのか、英語で討論し、最終日に各班で発表しました。ただでさえ難しい問題を前に、自分の意見をなかなか表現できず苦勞したことも多かったのですが、班員との協力を通して、納得いくプレゼンテーションを作り上げることができました。

**Case Presentation** では、はじめ **History Taking** すらも危ういのに、先生と一対一で **Case Presentation** するなんて・・・と思いましたが、ハワイ大学の学生さんたちが優しく、一緒に鑑別診断を考え、色々な疑問にも紳士に答えていただき、先生方も丁寧に、どこが改善できるか、どこを聞くべきだったのか、素朴な疑問にも付き合ってください、だんだんと楽しくなって **History Taking** を出来るようになりました。今までも自分の大学のワークショップで同じような英語での医療面接をしたことはあったのですが、英語圏以外からの **SP** さんだったことに加え、面接した後のプレゼンテーションを評価してもらったことはなく、さらにアセスメントや鑑別診断まで求められたのも初めてのことで、英語の勉強のみならず、医学的な勉強をすることもできてとても有意義な日々でした。

今回、同じような海外留学を目指すたくさんの方々に巡り合えたことも大きな財産のひとつです。普段の生活では、どうしても他の大学と深く交流する機会が少ないため、今回集まった九州から北海道までの医学生と出会えたことはまたとない機会であり一生の財産だと思っています。切磋琢磨したワークショップ、合間のフリータイムで遊んだこと、ハワイの慣れないご飯や寮生活を乗り越えたこと、全て仲間の存在なしには語れません。一生忘れられないこの夏の思い出を胸に、また夢に向かって頑張ります。